

ゴンドラ

No. 7

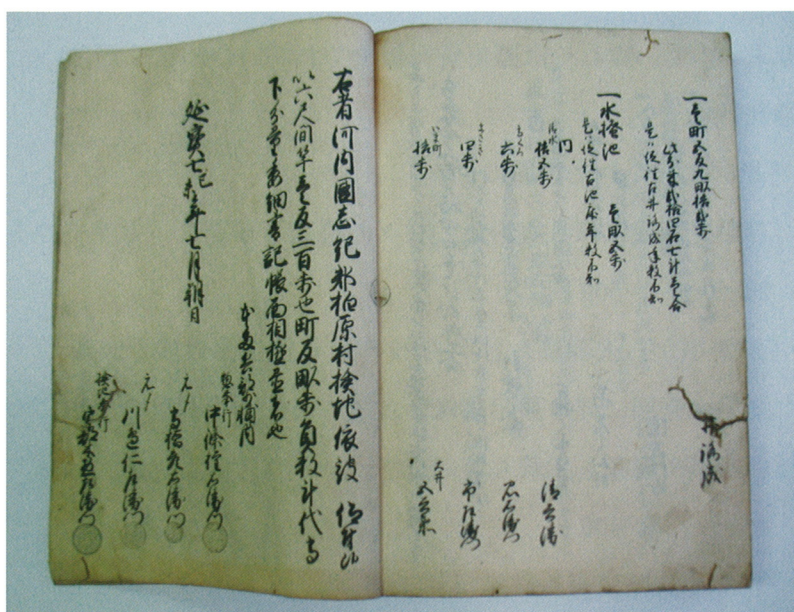
新収資料「柏原村検地水帳」

平成22年4月に、「柏原村検地水帳」が古書店の目録に掲載されていることを知り、すぐに史料の確認を行いました。この史料は、延宝7年（1679）の柏原村の検地水帳ですが、当館では3年前にも延宝7年の柏原村検地水帳を購入していたのです（ゴンドラNO.4）。今回の史料と3年前に購入した史料を比較し、そのうえで購入すべき史料であると判断できれば、購入したいと思っていました。

史料を比較した結果、同じ検地水帳であることがわかりました。ただし、前回の史料は柏原村に保管され、土地割りの変化や所有者の変化があるたびに上に付箋を貼ってその変化を記録したものでした。そして今回の史料は、延宝7年当初のままの検地水帳であり、検地を行った奉行、柏原村の庄屋らの印を押したものであることから、提出された正式な検地水帳であることがわかりました。

このふたつの史料を比較して、両者に違いがないかを確認する必要があること、そして奉行や庄屋らの印を押していることなどから、関係各方面の了解を得て、この史料を購入することにしました。

虫食いがあり、一部は水に濡れたことがあったようですが、史料の残りは良好であり、今後、近世の柏原村の調査・研究に活用していきたいと考えています。



柏原村検地水帳

企画展のご案内

◎平成 22 年度秋季企画展「大和川はどこへ・・・」

平成 22 年 9 月 21 日～12 月 12 日

大和川の付け替え工事を中心とした、大和川の歴史についての企画展です。今回は、大和川釣り人クラブによる大和川の魚や鳥たちの写真展『大和川の生き物たち』を同時開催します。

◎平成 22 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーはこぶー」

平成 23 年 1 月 8 日～3 月 6 日

例年開催しているちょっと昔の道具についての展示です。今回は、運ぶ道具を集めてみようと思っています。小学生の来館をお待ちしています。

◎平成 22 年度春季企画展「柏原とぶどう」

平成 23 年 3 月 26 日～6 月 19 日

カタシモワインフード株式会社所有の葡萄酒醸造用具を、柏原市指定文化財に指定したこともあり、柏原の地場産業であるぶどう及び葡萄酒造りについての展示を計画しています。

※タイトル・期間等は変更になることがありますので、事前にお問い合わせください。

お知らせ

◎史跡高井田横穴特別公開

平成 22 年 10 月 16 日（土） 10:00～15:00 史跡高井田横穴公園

普段は鍵がかかっていて入れない十数基の横穴を、鍵を開けて、職員やボランティアの解説のもとに見学していただけます。ゴンドラ形の船に乗る人物など、線刻壁画も見ることができます。横穴公開は、毎年 5 月と 10 月の第 3 土曜日に実施しています。

◎体験教室

12 月上旬にしめなわづくり、来年 2 月上旬にわらざうりづくりを予定しています。定員に限りがありますので、詳しくは歴史資料館までお問い合わせください。

◎刊行物

・『絵図に描かれた柏原の村々』

春季企画展に伴う資料集。村々の絵図の写真と、カラーのトレース図、解説を付した資料集。

28 ページ。500 円。

・『群集墳から火葬墓へ』平成 22 年度夏季企画展展示図録

夏季企画展に伴う展示図録。古墳の終末と火葬墓の出現について考えています。安福寺所蔵の夾紵棺の写真や解説も掲載しています。

40 ページ。400 円

・『柏原市立歴史資料館館報』22 号

本文 52 ページ、カラー図版 1 ページ。400 円。

企画展を終えて

★平成 21 年度秋季企画展「ふりかえれば大和川」

平成 21 年 9 月 22 日～12 月 13 日

観覧者数 10,433 人（個人 1,986 人、団体 8,447 人）

★平成 21 年度冬季企画展「ちょっと昔の道具たちーおひなさん集まれー」

平成 22 年 1 月 9 日～3 月 7 日

観覧者数 4,345 人

（個人 2,090 人、団体 2,255 人）

★平成 21 年度春季企画展

「絵図に描かれた柏原の村々」

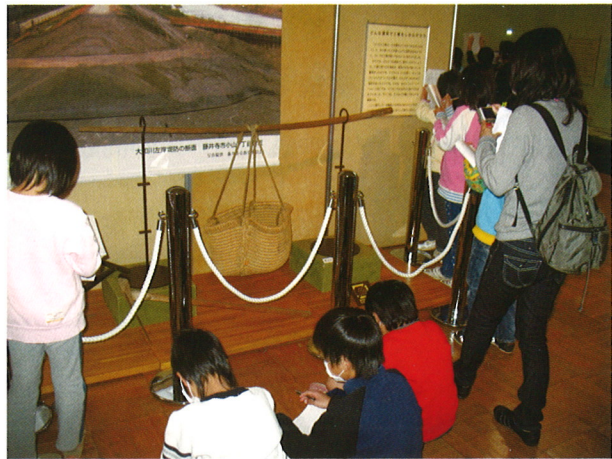
平成 22 年 3 月 27 日～6 月 20 日

観覧者数 2,977 人

（個人 2,489 人、団体 508 人）

★平成 22 年度夏季企画展「群集墳から火葬墓へ」

平成 22 年 7 月 10 日～9 月 5 日



平成 21 年度秋季企画展見学風景

市民歴史大学

当館では、開館以来企画展に伴う文化財講演会を実施してきましたが、来館者から、もっと幅広いテーマ、講師による講演会を企画してほしいという要望が多数寄せられ、平成 18 年度から市民歴史大学という特別講演会を開催することにしました。市民歴史大学は、年間テーマを決めて、そのテーマに関する講演会を年 4 回程度開催するという企画で、テーマに相応しい講師ならば、少し遠方からでもお越しいただくという趣旨で実施しています。

テーマは、平成 18 年度から「古墳て何だ」「聖武天皇とその時代」「大和川と水運」「古墳時代の幕開け」と続き、平成 22 年度は「古墳時代の幕引き」というテーマで開催しています。毎回好評を得ており、参加者の平均は 80 名以上を数えます。

22 年度は、8 月に猪熊兼勝先生（京都橘大学名誉教授）にご講演いただき、9 月に高橋照彦先生（大阪大学准教授）にご講演いただきます。

今後の予定は、1 月 8 日に来村多加史先生（阪南大学教授）、2 月 12 日に塚口義信先生（堺女子短期大学名誉学長・名誉教授）にお願いしております。終末期古墳についての講演会です。定員 90 名。無料ですので、ぜひお越しください。



平成 21 年度市民歴史大学第 4 回

新収資料の紹介

当館では、市民の方々からさまざまな資料を寄贈・寄託していただいております。平成 21 年度も 18 件の寄贈と 1 件の寄託がありました。その多くは、生活のなかで使われていた民具です。また、「こんなものがありますよ」と声をかけていただいても、収蔵スペースの関係などからお断りする場合もあり、心苦しい限りです。

そのようななか、市内太平寺在住の高井豊幸氏から、楠正成の湊川合戦図屏風があるのだが、見に来てくれないかと連絡があり、お宅へ伺ったところ、部屋いっぱいに広げられた立派な屏風でした。製作年などはわかりませんが、非常に残りもいいものでした。いろいろとお話しするなかで、高井氏から、歴史資料館に寄贈するのでもらってもらえないかという話になりました。柏原市に直接関係する史料でないことや、収蔵スペースの問題もあったのですが、文化財課内で相談のうえ、寄贈していただくことにしました。

いずれ、みなさんにもご覧いただけることがあると思います。お楽しみにしてください。



「湊川合戦図屏風」

ーひとことー

ゴンドラ第 7 号をお届けします。当館では、2 年余り前から、来館者にアンケートにご協力いただいております。その多くは、「わかりやすい展示だった」、「新しい発見があった」などと好意的なものですが、苦情や要望もしばしばあります。たとえば、展示品の出土場所がよくわからないので地図を置いて欲しいなどという要望には、すぐに応えるようにしていますが、「くだらない展示だ」とか、「この学芸員は何をしているのだ」というご意見もあります。ただ、これでは、どこを改善すればいいのかわかりません。ご意見のある場合は、具体的に、もしくは直接ご指摘いただければ改善もできると思いますので、ご協力よろしくお願いします。(Y)

柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日（祝日でも休館）、年末・年始

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 入館料 無料

〒 582-0015 大阪府柏原市高井田 1598- 1 TEL 072-976-3430